

組合だより

東京管工機材商業協同組合

スローガン

- 1. 適正利潤の確保
- 1. 取引改善の徹底
- 1. 工・製・販の協調
- 1. 組合認識の高揚
- 1. 環境保全の推進

役員会報告

【令和6年度第4回定例理事会】

9月3日（火）午後4時から明治記念館「相生の間」において、第4回定例理事会が開催されました。

《報告事項》

1) 組合行事等実施状況報告

7月2日（火）講演会・製販懇談会・定例理事会

7月17日（水）支部対抗ゴルフ大会

7月23日（火）会計監査

8月27日（火）会計監査

2) 委員会・専門部会・支部会報告等

○本部・支部活動報告（7～8月）

3) その他の報告事項

8月21日（水）第56回管工機材・設備総合展
御招待券」発送

第34回管工機材・設備総合展の参加者について

第56回管工機材・設備総合展の参加者について

第22回管工機材・設備総合展の開催期間等

「東京都」、「経済産業省・中小企業庁」からの周知
チラシ

《審議事項》

第1号議案 組合員の脱退について

第2号議案 三多摩管工事協同組合の「令和6年能登
半島地震 災害派遣 記録誌」刊行に伴う
東京組合の協賛広告について

第3号議案 合同支部会の開催について

第4号議案 第57回管工機材・設備総合展の準備状況
等について

第5号議案 支部再編の検討状況等



第4回 定例理事会

【管工機材の将来を考える研究会】

9月3日（火）午後5時より明治記念館「蓬莱の間」にて「管工機材の将来を考える研究会」が開催され、「AI×「大塚商会」大塚商会のDX事例から学ぶ！データとAI活用で実現する生産性の向上」をテーマに(株)大塚商会 山口大樹氏による講演が行われました。

日頃の業務運営にとって大いに参考となる講演で、参加者も熱心に聴講されていました。

組合員93名、青年部16名、賛助会員83名、その他7名 計118名が出席しました。



(株)大塚商会 山口 大樹氏 ご講演



本部ニュース

【合同支部会】

9月3日(火)午後6時15分より明治記念館「蓬莱の間」において、127名が参加し第43回合同支部会が開催されました。第3支部の二永理事の司会進行で、冒頭、落合理事長が挨拶され、今後の支部再編の動きなどにも触れられました。続いて各支部の支部長・青年部会長全員が壇上に上がり、活動状況の報告を行いました。

- ・第1支部 支部長：本庄理事 青年部：吉野部会長
- ・第2支部 支部長：佐藤理事 青年部：倉地部会長
- ・第3支部 支部長：二永理事 青年部：村主部会長
- ・第4支部 支部長：本山理事 青年部：久保田部会長



落合理事長 挨拶



支部活動状況報告

次に、キャッチコピーの発表を亀山副理事長が行い最優秀作品1点、佳作2点が披露されました。その後、7月17日(水)よみうりゴルフ倶楽部において開催された東京組合4支部対抗ゴルフ会の表彰を関口副理事長の進行で行いました。

そして、向山相談役の乾杯のご発声で歓談が始まり、斎藤副理事長の中締めでお開きとなり大いに盛り上がった会となりました。



支部対抗ゴルフ会
優勝 第1支部のメンバー



支部対抗ゴルフ会
ベスグロ賞 益岡氏





向山相談役 ご挨拶



会場の様子



斎藤副理事長 ご挨拶

管機連

管機連ホームページ掲載「管機連だより」をご参照ください。

<https://www.kankiren.or.jp/reports>

【今後のスケジュール (予定)】

10月10日(木)～12日(土)
第34回管工機材・設備総合展(愛知組合)
《吹上ホール》

10月23日(水)～25日(金)
第56回管工機材設備総合展(東管協組)
《浜松町館》

11月1日(金) 定例理事会《学士会館203》

12月16日(月) 管機連第2回理事会
《日本工業倶楽部》

《令和7年》

1月8日(水)
定例理事会・賀詞交歓会《東京ドームホテル》

3月3日(月) 管機連第3回理事会
《日本工業倶楽部》

3月5日(水) 定例理事会《グランドヒル市ヶ谷》

4月18日(金) 定例理事会《グランドヒル市ヶ谷》

5月8日(木) 第57回総合展「出品者説明会」
《明治記念館》

5月21日(水) 定例理事会・第78回通常総会・管工機材の将来を考える研究会・意見交換会《明治記念館》

第57回管工機材・設備総合展

キャッチコピー決定！！

最優秀賞

進化する技術、確かな品質 未来を築く設備展

クリーン冷熱販売㈱ 林 健太様

佳作

繋げる想い！受け継ぐ技術！ 未来を創る設備展
(株)亀山機材店 高谷 友美様

佳作

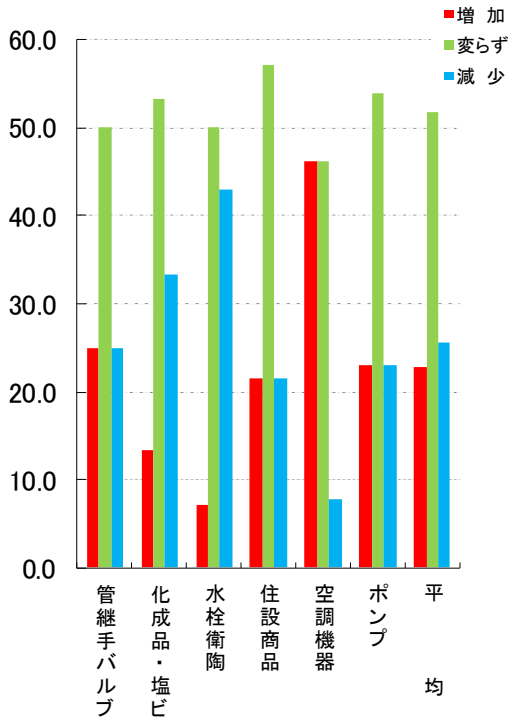
豊かな暮らし・夢ある未来・ここから始まる設備展
(株)角産 鈴木 大規様

7月の景気動向

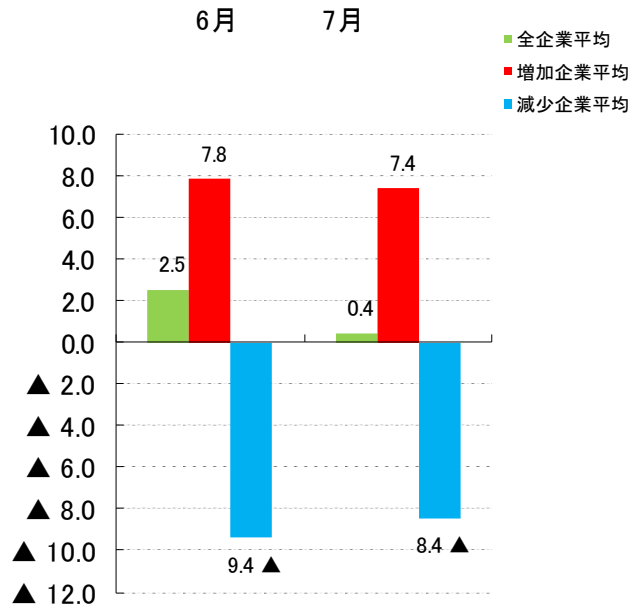
(2024年7月)

流通委員会
回収率 66.7%

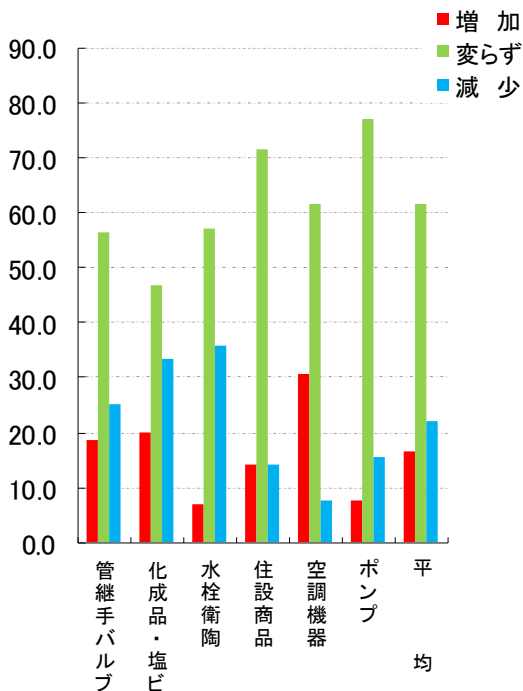
1. 7月の売上高(前年同月比)



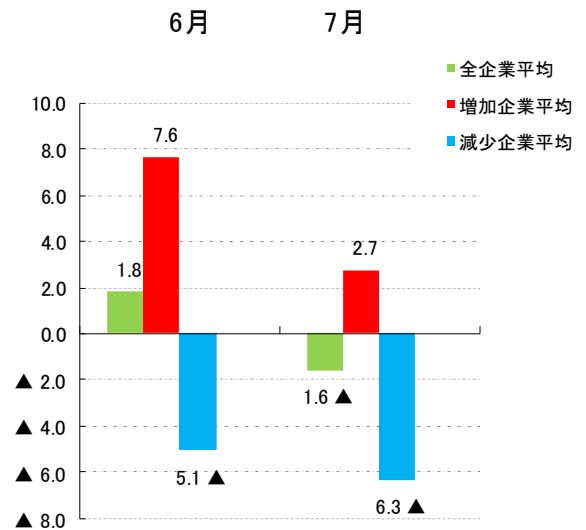
前年同月比金額増減率



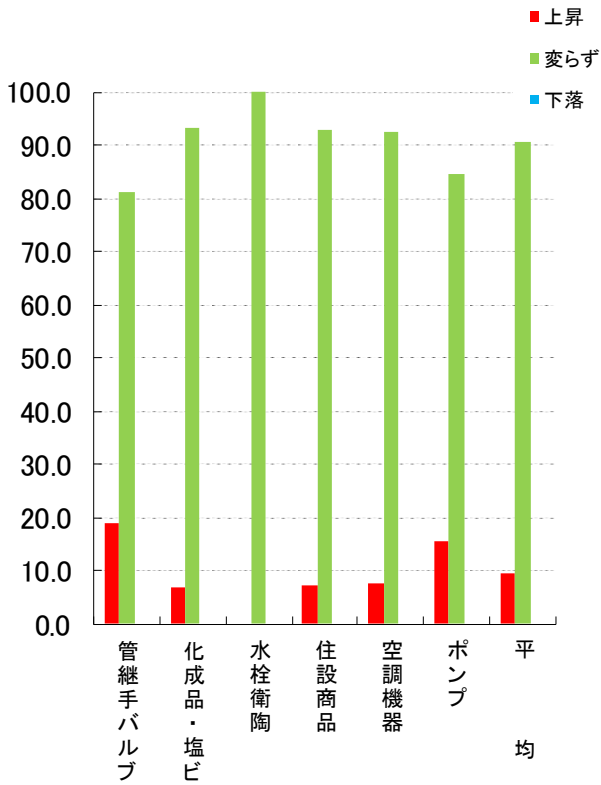
2. 7月の粗利益額(前年同月比)



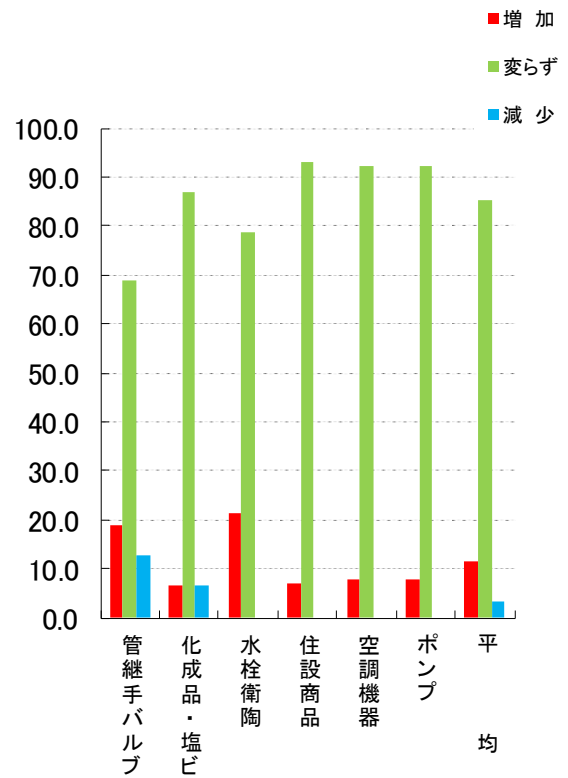
前年同月比金額増減率



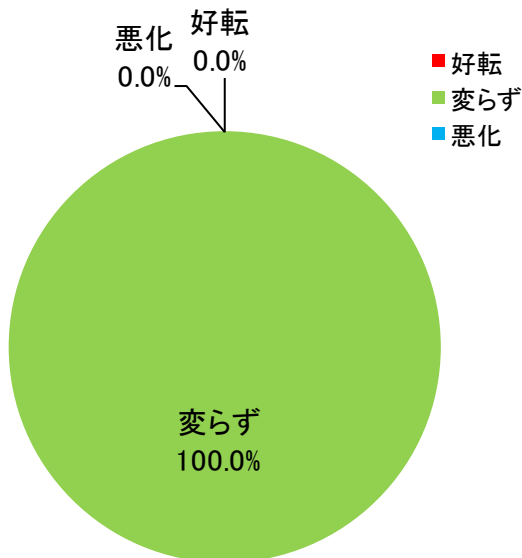
3. 7月の販売価格(前月比)



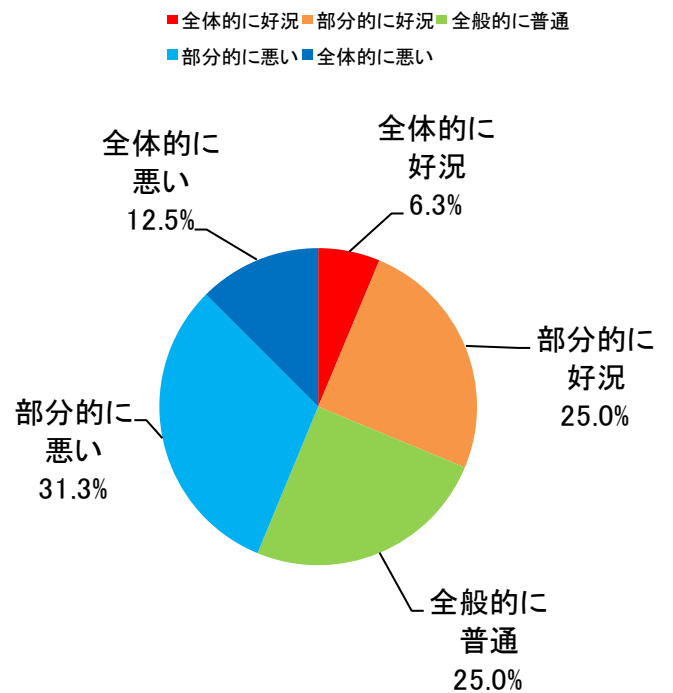
4. 7月の在庫増減状況(前月比)



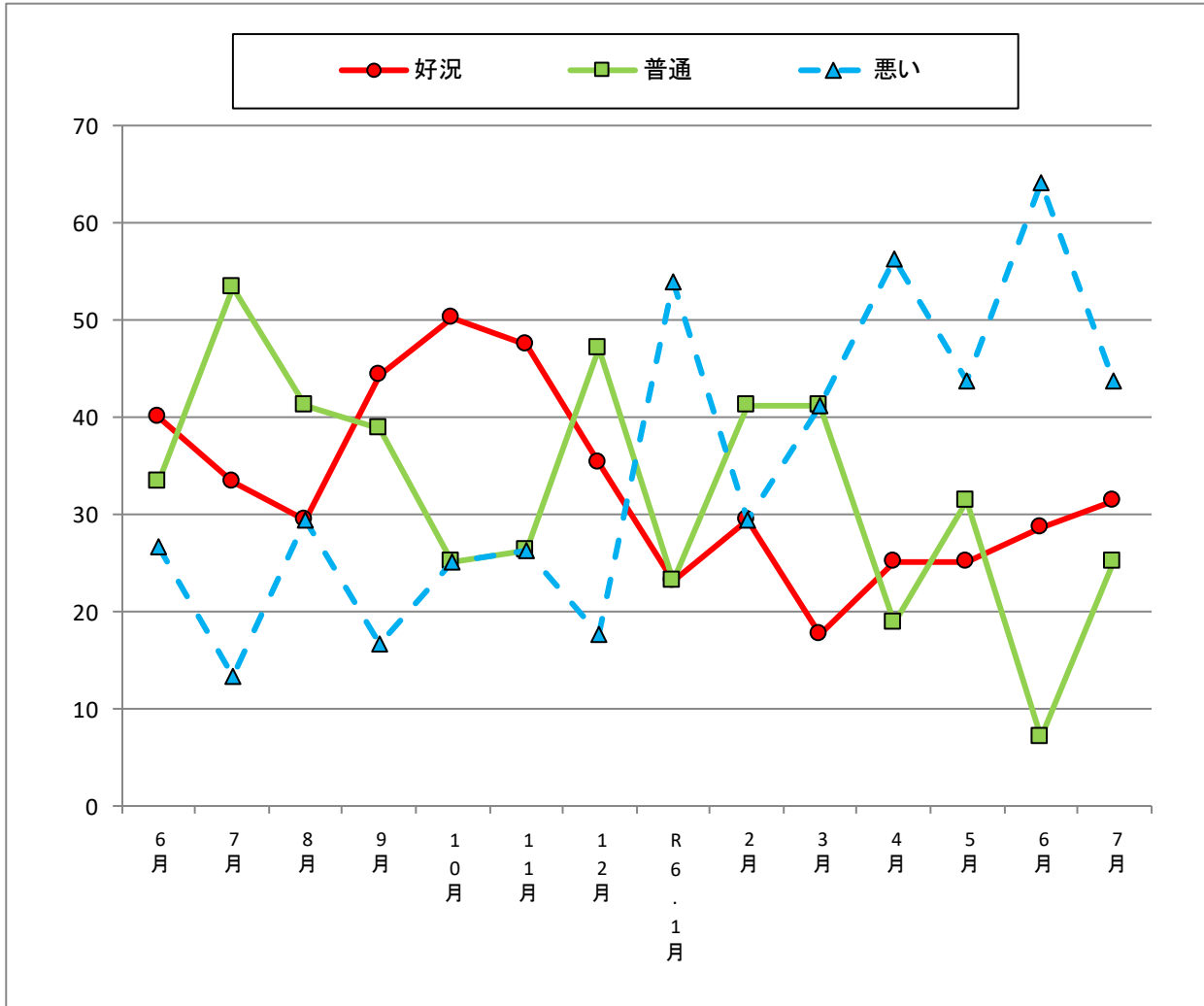
5. 6月に比べて7月の資金繰りは



6. 7月の全般的な景気状況は

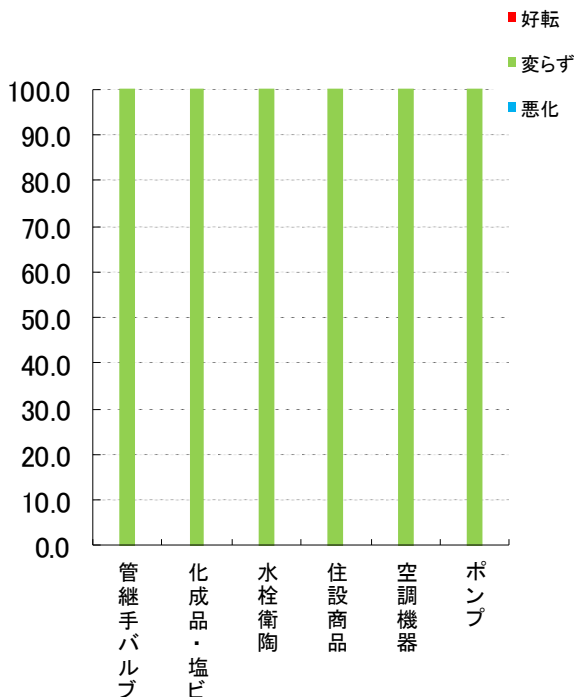


7. 景況全般推移

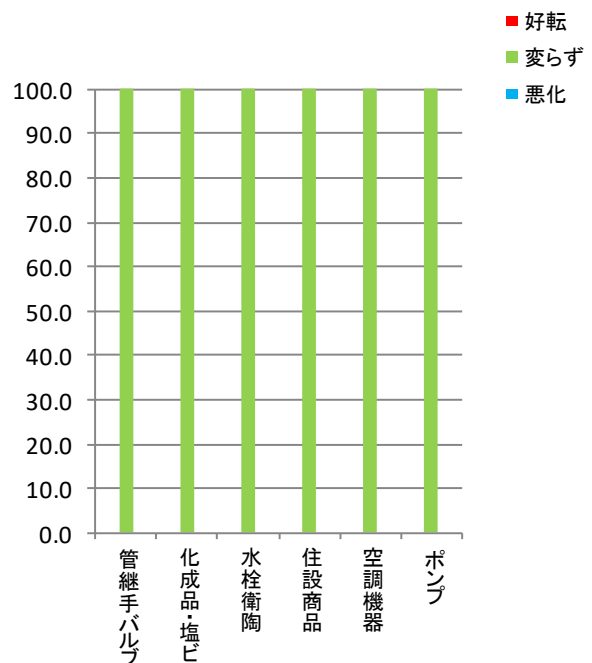


5段階の景況調査(全体的に好況、部分的に好況、普通、部分的に悪い、全体的に悪い)を3段階に集約(好況、普通、悪い)して傾向を捉えやすくしたもの。

8. 7月の回収条件(前月比)



9. 7月の支払条件(前月比)



組合員の皆様へ

お得な共済制度のご案内

火災共済

特徴

①非営利団体のため割安な掛金*1

②万一のときも、共済金の支払いは迅速*2

③剰余金を組合員に還元*3

決算の結果、剰余金が生じ、その契約が無事故の場合、利用分量配当で還元しております。

④管工機材が窓口(代理所)ですので安心

東京都火災共済協同組合は、中小企業等協同組合法に基づき設立された都内唯一の中小企業者のための共済組織です。

*1:条件により異なる場合がございます。 *2:事故の内容により、お時間を頂く場合があります。 *3:組合員外は、対象外となります。



注目

火災共済に、プラスの安心

地震危険補償特約



住宅や併用住宅だけじゃなく、
事務所や工場、店舗
にも、対応しているんだね。



■この補償の100万円あたりの1年間の掛金は

○専用住宅&住宅部分のある事業用建物

耐火構造 非耐火構造

1,980円 2,960円

○事業用建物(建物内に住宅部分なし)

耐火構造 非耐火構造

2,890円 4,320円

※新耐震基準である昭和56年6月以降の「建物」が対象となります。(動産は対象外)
※地震共済金額は主契約の30%~50%の範囲内で、1,000万円が限度となります。

※法人・個人を問わずご契約いただけます。(従業員の方もご契約いただけます。)

※お引受できる物件は東京都にある物件に限らせていただいています。

詳しくはとうきょう共済にご確認下さい。

共同元受:全日本火災共済協同組合連合会

— 扶け合いの精神から生まれた —

とうきょう共済

東京都火災共済協同組合 担当:田久保

中央区銀座2-10-18

東京都中小企業会館2階

TEL 03-3542-0271 FAX 03-3545-8606

<http://www.tokyo-kyosai.or.jp/>



組織紹介動画

取扱代理所 東京管工機材商業協同組合

千代田区岩本町1-7-6 MURATOKU BUILDING2階

TEL 03-3866-9543

FAX 03-3851-7354

裏面 自動車総合共済ご案内 FAX送信票

自動車総合共済

特徴

- ①一般の損害保険会社よりスリムな掛金*1
- ②ご加入中の保険の割引等級を継承
- ③1ヶ月前までの予約割引(5%)あり*2
- ④3台以上一括契約で多数割引 10台以上一括契約でフリート割引
- ⑤記名被共済者(主に運転される方)がシニアドライバーの方でも割安な掛金



*1:条件により異なる場合がございます。 *2:条件により適用されない場合がございます。

自動車共済は「事故有等級」を導入していません。

損害保険会社の自動車保険は、事故有等級制度により同じ等級であっても事故有の場合、無事故に比べて更新時に保険料が高くなります。

(18等級で3等級ダウン事故を起こした場合の例)

		3等級ダウン事故				
		現在 18等級	1年後 15等級	2年後 16等級	3年後 17等級	4年後 18等級
損保・他共済	割引増率 無事故	56% 割引	53% 割引	54% 割引	55% 割引	56% 割引
	割引増率 事故有		28% 割引	32% 割引	44% 割引	
とうきょう共済		58% 割引	53% 割引	56% 割引	57% 割引	58% 割引

特別な「見舞金制度」が自動付帯

対人事故見舞金

被害者1名につき

死亡 : 10万円

治療 : 2万円

ご契約者にお支払い致します。
謝罪・お見舞いをされる際にご活用下さい。

対物事故見舞金

対物損害が

3万円超 : 3万円

3万円以下 : 被害相当額

対物損害額が3万円までは、対物賠償金をお見舞金としてお支払いしますので、翌年の掛金は上がりません。特約を付帯することにより限度額を5万円にすることもできます。



元受 全日本火災共済協同組合連合会

〈FAX送信票〉 ※下記の事項をご記入の上、お送り下さい

<input type="checkbox"/> 資料を送ってほしい(火災・自動車) <input type="checkbox"/> 加入の手続きをしたい <input type="checkbox"/> 説明を聞きたい <input type="checkbox"/> 見積りを送ってほしい 現在ご加入中の保険証書を、FAXにてお知らせ下されば、お見積りさせていただきます。自動車共済の見積りをご希望の方で現在自動車共済(保険)にご加入されていない方は、車検証をお送り下さい。 (個人情報の取扱に関する重要事項) 個人情報の取扱については法律を遵守すると共にその安全管理に努めています。詳細は当組合ホームページに掲載しています。	貴社法人名(ご担当者名)	
	ご住所 〒	
	TEL	FAX
	ご加入中の保険の満期日	
送付枚数	代理所番号	
合計 枚		29900

FAX 03-3545-8606 TEL 03-3542-0271

お電話でのご連絡・お問合せでも結構です。改めて担当の 田久保 よりご連絡させていただきます。

01-008-041002